

舞鶴港和田地区多目的国際ターミナル整備事業  
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	45	千円/TEU・年	陸上輸送距離短縮によるコスト削減(コンテナ)	8.9	億円/年
		3	千円/トン・年	船舶大型化等によるコスト削減(けい砂)	3.8	億円/年
		5	千円/台・年	陸上・海上輸送距離短縮によるコスト削減(中古自動車)	0.6	億円/年
移動便益	走行時間短縮・走行経費削減	13.9	億円/年	走行時間短縮・走行費用削減	13.9	億円/年
	交通事故削減	0.2	億円/年	事故損失額の減少	0.2	億円/年
環境便益	排出ガスの減少	0.4	億円/年	CO2排出量の削減	0.4	億円/年

\* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成16年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(-14m)、泊地(-14m)、道路、物揚場(-4m) 等